

令和3年度 城山商工会 経営発達支援計画事業評価書

地域商工業者の“持続的な発展”を目指し、伴走型で商工業者を支援していくために、当会では小規模企業基本法に基づき、「第2期経営発達支援計画」を策定し、令和2年3月16日に経済産業省の認定を受けました。

この計画の認定を受けたことにより、今後は城山商工会が認定商工会として、従来の小規模事業者の経営相談に加え、行政や他の公的支援機関・地域金融機関・各分野の専門家と連携して、小規模事業者の意欲ある取り組みを支援する「伴走型小規模事業者支援」に取り組んでまいります。なお、令和3年度の事業実施状況と成果の検証を以下のとおり報告いたします。

- 日時 令和5年1月27日（金）15時～16時
- 会場 城山商工会館
- 出席 委員3名（有識者2名、行政1名）、事務局4名
- 内容 城山商工会令和3年度「経営発達支援計画」事業評価について

I. 経営発達支援計画の内容

◆ 経営状況の分析に関すること

実 施	商工会ホームページや商工会広報誌（全戸配布）による非会員も含めた告知、窓口相談等での案内と支援希望者掘り起しを行った。また、総合的な経営分析による経営診断の支援を実施。経営分析を実施した全事業者を巡回訪問し、分析結果の説明と経営改善へのヒントを提供した。	
評 価	経営分析について、事業者に広く告知して裾野を広げながら、実施した経営分析を個社に生かすことができるような支援を行っている点については高く評価できる。実施件数は前年に比べ減少している項目もあるが、地域事業者へ経営改善・創業支援の告知や、支援機関や外部専門家と連携支援などの実施件数が前年に比べ増え、告知や中小企業支援機関・外部専門家の活用に努めていることから、「B」評価とする。	A B C D

◆ 事業計画策定支援に関すること

実 施	経営分析結果と需要動向等を踏まえ、事業者の負担を配慮して、最重要項目の事業計画策定を優先した。経営指導員等や外部専門家が寄り添いながら事業計画策定を支援し、将来、事業者が自立して計画策定出来る様に策定プロセスを伝授した。	
評 価	事業継続の基本となる事業計画の策定を支援することで、事業者の経営力が向上することにつながることを期待される。事業計画策定の支援対象者の掘り起しや事業計画策定支援の実施件数が前年に比べ増加していることから「A」評価とする。	A B C D

◆ 事業計画策定後の実施支援に関すること

実 施	設備陳腐化、技能やIT力不足、非効率な業務フローなど事業計画を遂行する上で発生する様々な障害に対し、計画遂行上、影響が大きい要因については事業者と協議し、代替手段を提案するなど適切な助言・指導を実施した。事業計画に基づくPDCAの反復支援を実施した。	
評 価	事業計画策定後のフォローアップについては、事業者側の意向も反映されるので難しいと思うが、フォローアップの有無は計画の実施に有効かと考える。フォローアップ支援に努めているが、実施件数は前年並みまたは前年を下回る水準となった。継続支援に係る企業の理解・実施に至りにくい状況があり、「B」評価とする。	A B C D

◆ 新たな需要開拓に寄与する事業に関すること

実 施	当商工会ノベルティーを活用して地域イベント出店事業者の店舗、商品等を来場者に紹介し、実店舗やホームページへの訪問を促進した。	
評 価	前年は新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかったが、令和3年度はしろやま得の市を開催し集客を図るなど、一部事業を再開したことから、「A」評価とした。在宅での勤務等も定着してきたこともあり、地域内での需要やECサイトでの需要も見込めるようになってきた。地域イベントやサイトの活用を促すことが活性化につながると考える。	A B C D

Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

◆ 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

実 施	日本政策金融公庫厚木支店や神奈川県商工会連合会との連携に加え、隣接都県に支店ネットワークを有している地域金融機関との連携拡大による経済動向や需要動向等の情報獲得力の強化を実施した。獲得した経済動向や需要動向は、事業計画策定や実施支援に使用し、地域事業者の需要開拓に活用した。経営発達支援事業を通して獲得した需要開拓等の支援ノウハウを（経済圏を同じくする）近隣商工会、商工会議所と共有し、当商工会の支援事業に活用した。	
評 価	他の支援機関や近隣商工会との連携や情報交換は地域の事業者にとって有益であると考え。支援機関・近隣商工会との連携に努め、需要動向等の各種情報の獲得を図っていることから、「A」評価とする。	A B C D

◆ 経営指導員等の資質向上等に資する取組

実 施	高度専門化した経営課題に対して支援する経営指導員等の継続的な知識・能力の向上を目的として、中小企業大学校、神奈川県商工会連合会が開催する各種経営指導員研修会等の研修を受講した。 経営発達支援事業による地域小規模事業者の経営分析結果、支援状況、支援ノウハウ等や各種研修により習得したノウハウ等は、毎月一回開催する「月次進捗共有会」において当商工会職員全員で共有する。	
評 価	常に資質向上のための施策を行っていることで、それが地域事業者へのフィードバックにつながることを考える。職員の研修受講、職員間での十分な情報共有など、職員の資質向上に努めていることから「A」評価とする。	A B C D

総 評	A	コロナ禍の渦中で事業者の支援ニーズに寄り添う支援が模索される中、商工会の事業者支援力を向上させる取り組みが多く見られた。経営分析を行った事業者のすべてを対象に巡回訪問を行うなど、コロナ禍でも前向きな支援姿勢を貫いていることは伴走型支援を実施する上で特筆すべきことである。事業計画策定後のフォローアップ支援では、前年度の支援件数を下回ったものの、定性的には事業者の満足度向上に寄与する支援が行われているものとする。今後も地域の事業者に寄り添う、身近で頼もしい支援機関としての役割を商工会に期待する。